

# ロング・ライフ だより

○発行所○  
社会福祉法人ライフ・タイム・福島  
特別養護老人ホームロング・ライフ

◎発行人◎  
広報委員会  
福島市松川町字産子内1-1  
☎024-567-5800

## 明けましておめでとうございませ 今年も宜しくお願い致します

新年を迎えまして



施設長  
久保田 尚子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
旧年は、新型コロナウイルス感染症防止対策を  
講じながら、ご利用者様には安全にそして  
新しい楽しみを感じて頂けるようにと、  
職員一同工夫し行事の開催等に取り組ん  
だ一年でした。ご利用者の皆様、ご家族様、  
地域の皆様には、ご理解とご協力、そして  
温かなご支援を賜りましたこと、心より御  
礼申し上げます。

本年も、住み慣れた地域で自分らしい生活  
を続けられるよう、安心してご利用頂ける  
よう職員一丸となり地域に根ざした施設  
作りに取り組んで参りたいと思っております。  
また、一日でも早い新型コロナウイルス  
感染症の収束を願いながら、今後も感染防  
止対策をより一層徹底し努めてまいりま  
す。  
本年も引き続きご理解と協力の程、よろ  
しくお願い致します。

新年のご挨拶



事務局長  
森 重勝

明けましておめでとうございます。  
令和二年、三年と新型コロナウイルス  
関係で、様々な対応を余儀なくさ  
れ、皆様にも大変な御不便と御足  
労をおかけしました。

幸いなことに、御利用者の皆様、御  
家族の皆様、職員一同、感染をせずに  
無事に過ごすことが出来ました。今  
年は少し落ち着いた日常を過ごせ  
らと思っております。  
利用者様、地域の皆様と共に、より  
良い一年となるように努めてまいり  
ます。  
本年もどうか宜しくお願い申し上  
げます。





# 明けましておめでとうございます 今年も宜しくお願い致します



特別養護老人ホーム  
ロング・ライフ

新年明けましておめでとうございます。今年も昨年同様、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して新年会行事を実施しました。

数日前には餅つきも行い、ついたお餅で鏡餅を作りました。利用者の皆様には新年の抱負を書いてもらい、絵馬にして飾りました。

当日はお正月の曲を流して雰囲気味わって頂き、健康を願い獅子舞に頭を噛んでももらいました。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



## グループホーム フクチャランチ



グループホーム  
フクチャランチ

新年明けましておめでとうございます。

令和四年元旦にフクチャランチの新年会を行いました。

利用者様と職員でついたお餅をあんこやお雑煮にして、職員の手作りおせちを堪能しながら、良い年になりますようにと願い、楽しく新年を迎えました。

本年も宜しくお願い致します。



地域包括ケア施設  
ライフ吉井田

新年明けましておめでとうございます。

元旦にライフ吉井田新年会を行いました。毎年恒例の手作り獅子舞が利用者様の頭を噛みつき練り歩きました。これは、頭を噛み付いて疫病を追い払うという言い伝えからきているそうです。お正月と言えば、福笑いですね。面白い顔の完成に利用者様も大笑いしていました。

そして、今年の運勢を占うおみくじでは、職員が巫女に扮して利用者様におみくじを引いて頂き大いに盛り上がりました。

# 第2回キラリふくしま賞を受賞しました



「キラリふくしま介護賞」は、福島県内の介護施設等で勤務し、利用者に対する対応が優れている、新人職員、後輩職員への指導・助言に積極的に携わり、チームワークの向上に貢献している等により、職場でキラリ輝いている介護職員の方を表彰するために、令和二年度に福島県が新たに設けた制度です。また、令和三年度から新たに、労働環境・処遇改善等について優れた取組を行っている施設を表彰する制度も設けられました。

第2回キラリふくしま・福島介護賞に施設としグループホームブックチャンと個人として佐藤介護員と松崎介護員が県から受賞され賞状と盾を頂きました。

これからも、地域の模範になれるような施設づくりや、職場環境づくりに取り組んで参りたいと思います。



チャンネル登録よろしく  
お願いします！



当法人は平成二年に設立された社会福祉法人です。地域の方に喜んでもらえる法人を目指し、ニーズや時代に合わせ福島市内の松川、伏拝、吉倉の3拠点で計17の事業所を展開しています。また、地域交流サロン、認知症の方を地域で見守る認知症SOS訓練や、施設の夏祭りなど地域の方との交流を大切にしています。

職員の生き生きとした姿をお伝えし、写真撮影の協力を呼びかけたところ、多数の職員が参加してくれました。助け合える仲間や、利用者様・ご家族様からのありがたい言葉が元気の素にして皆で楽しく働いています。そんな様子がこの動画を通じて伝われば幸いです。

令和3年度福島県地域医療介護総合確保基金事業

## 共に生きる まちづくり

永田久美子氏 プロフィール

1960年群馬県三島市生まれ。千葉大学大学院看護学研究科修了。学生時代から地域や病所、施設で認知症の人と家族を支える活動に研究を続けてきている。事業所法人福島県在宅ケアセンター代表。

ハイブリッド研修 コロナが落ちた今こそチャンス！

【日時】令和4年1月11日(火)10:00~15:00  
【会場】ホテル福島グリーンパレス 福島県福島市大田町13-53 TEL: 024-833-1171  
【講師】永田久美子氏 認知症介護研究研修東京センター研究部長

パネルディスカッション 「高齢者を支えるしくみづくりの事業所の役割」

- 東條 英明氏(福島県高齢福祉推進アソシエイト 代表)
- 渡邊 良行氏(相馬市高齢福祉推進協議会 代表)
- 吉澤 大智氏(株式会社いしの里 認知症ケア事業部 部長)
- 助産者 永田久美子氏 講師
- コーディネーター 藤田 穂子氏 認知症介護研究研修東京センター研究部長

講師 藤田 穂子氏

申込み 福島県在宅ケアセンター 事務局 024-567-5800 申込締切 令和4年1月7日(金)

当法人では、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、対面公開講座と、オンラインのハイブリッド研修を開催しています。

今後とも感染予防しながら行っていく予定です。宜しく申し上げます。

## 第8回 認知症SOSネットワーク 模擬訓練が 開催されました



令和三年度、第8回目となる認知症SOSネットワーク模擬訓練を10月31日～11月14日の3週に渡り開催しました。前年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら美郷、石合、原中、水原の地区で訓練が行われました。

コロナ禍で関わりが薄くなっている時期に、住民同士が関わる良い機会になると地域の方からお話を頂きました。今後も皆様と一緒に地域づくりを行っていきたいと思います。ご協力いただきました地域の皆様、関係者の皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

# 新入職員紹介 令和3年9月以降に入社された方です。(順不同)

**氏名：太田 美保**

所属：グループホームフクチャンち  
資格：介護職員初任者研修



初めての介護なので学ぶことが多いですが、利用者様との笑顔が大好きです。

**氏名：久保 尚美**

所属：フクチャンち通所介護事業所  
資格：ヘルパー2級



利用者様が、楽しく生活できるように出来る環境づくりに取り組みたいと思います。

**氏名：菅野 和江**

所属：フクチャンち通所介護事業所  
資格：介護福祉士



歴史のあるGHに入職し2か月が経過しましたが、毎日指導の程宜しくお話し致します。

**氏名：田島 綾子**

所属：ロング・ライフ訪問看護ステーション  
資格：看護師



地域で暮らす方々やご家族のさまざまな悩みを、訪問看護師として頑張りたいと思います。

## ユニフォームのデザインが新しくなります

法人設立三十周年を迎え、職員のユニフォームを新しくします。

既存のものは、廃盤になってしまいうこともあり同じ事業所内でも複数の形状で整っていませんでした。

今回、職員の意見を多く取り入れて業者の方々と何度も打ち合わせを行い、色・生地・形状から、ポケットの位置やデザインまで何度も試着し作製しています。

今後は、同じユニフォームで職員同士の士気を高め、良いサービスを提供し、地域の皆様と喜ばれる事業所となれるようさらに邁進していきたいと思います。

**氏名：石井 美喜子**

所属：ロング・ライフデイサービスセンター  
資格：介護職員初任者研修



介護職は初めてですが、明るく精一杯頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



令和三年十一月十日に苦情解決委員会が開催されました。

令和三年度上半期分の苦情・相談について件数三件ありました。

新型コロナウイルス感染症対策を行い、第三者委員のお二人にお越し頂きご意見頂戴しています。

今回から新しく第三者委員に遠藤仁様をお迎えしています。

お二人からは、『人間対人間。対応、コミュニケーション、触れ合いという気持ちを持って対応することの大切さ、対人関係の基本は傾聴・共感・振り返りの3要素。』ということ、苦情を励ましと捉え、事業所をより良くしていくため、努力をしていきたいと思っております。

令和三年十月十九日に入所検討委員会が今年度三回目の開催されました。

『地域資源の適切な活用のために今回もご意見を頂戴しながら進めていきたい。』と第三者委員のお二人からのご意見を頂戴し、入所決定の透明性、整合性について良いご意見を頂き、学びとなる時間となりました。

### 特養入所判定委員会 苦情解決委員会

**【編集後記】**

明けましておめでとうございます。広報委員会スタッフ一同、心から新年のお祝いを申し上げます。

本年も昨年同様に、行事・事業の発信や生活に役立つ話題など、より一層の紙面の充実に向けて努力して参ります。

利用者様や地域の皆様と共に、職員のかんばり光る姿をお届けできれば嬉しいです。 広報委員会

福島市社会福祉協議会松川協議会様より歳末助け合いの贈呈式が行われました。頂戴した援護金は、利用者様のために大切に使用させて頂き、ありがとうございます。

当法人も地域社会の一員として、より一層地域貢献に努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

### 歳末助け合いの贈呈式が行われました

